

## 令和3年度鶴居村農業委員会活動計画

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、予定していた研修会や行事等の中止を余儀なくされた1年間ではなかったかと思います。この影響は農業にも及び、国内外の観光客や外食需要の大幅な減少により、農畜産物や加工品の在庫の滞留や価格下落が発生している他、労働力の確保についても、大きな課題となっている状況にあります。

また、農業経営や農業生産への影響を軽減するため、2020年度補正予算により各種対策が講じられたところですが、このコロナ禍が拡大・長期化する中1日も早く収束することを願うばかりです。一方、昨年11月に合意した「地域的な包括的経済連携協定（RCEP）」は、中国・韓国と我が国の間で初めて結ばれる経済連携協定であり、農業分野における重要5品目（コメ・麦・牛肉・豚肉・乳製品・甘味資源作物）については関税削減などから除外されました。

さてこの様な情勢を踏まえ本年度の活動に於いては、農業者の高齢化や後継者不足など、農業を取り巻く環境が非常に厳しい中、農業の振興と発展を図るためには、農業の持つ多面的な機能を生かしながら、限られた資源である農地を適正かつ効率的に利用することが求められています。昨年農業委員の任期満了に伴い本村においても新たな農業委員が選任されました。

このように色々と情勢が変化していく中で、農業基盤の強化を図るため、今後ますます優良農地の維持確保は重要となってきております。その要となる農地の流動化の促進は、農地の出し手と受け手の間に入る人がいなければ実現できません。本委員会においても、この間に入る重要な役目を担っていく必要があります。農業委員は「農業者の意見を聞く」「地域の意向をまとめる」という地域農業者の世話役、相談役としての役割を積極的に担い、本村農業の発展に寄与していくことが重要であり、地域に住む人たちが自らの地域の農業をどうしたいか、そのためには何が必要かを話し合っ自分たちで将来を決めていく、その推進役となる活動を行って参ります。

今後も本村委員会においては、食料自給率の向上や生産基盤に欠かせない農地を守るという大切な任務が与えられており、農地利用の最適化の推進を図りながら、本年度においても昨年度と同様に「人と農地」の問題に正面から取り組み、夢と希望の持てる本村農業の発展に取り組むことを目指していきます。

また、地域高齢者の見守り等の農福連携活動も取り入れながら活動をしていきます。

本村農業委員会は、農業・農村をとりまく厳しい現状を直視し、新たな基本法の方針を踏まえて地域における農業資源の保全、管理を通じて国際化に対応

し得る農業経営と消費者の視点に立った安全・良質な農産物の生産、農業・農村社会の確立を目指し、また、鶴居村が宣言された新型コロナウイルス感染症に対する「支えあおう・鶴居びと」宣言の旗の下に諸活動を展開して参ります。

## 1.活動目標

地域農業の活性化や体質の強い経営づくりを目指し、村・農業協同組合等関係団体との連携を図りながら、運動の目標を次のとおり定める。

- (1) 農業資源の保全・利用を通じて、地域づくりを進める。
- (2) 農業の国際化の下で、体質の強い経営づくりを進める。
- (3) 農業者の代表として、きめ細かな農政活動を展開する。
- (4) 全国農業新聞の推進及び農業者年金の加入推進に向けた取組等の実施をはかる。
- (5) 昨年に引き続き農業委員会の法令遵守の申し合わせ決議（案）の議決を実施する。

## 2.活動計画

農業者の代表機関として、地域の実情を把握し地域ごとの課題を踏まえた農政活動を展開するものとする。

### (1) 農業資源・利用の取り組み

地域農業の活性化を図っていく上で、基礎的資源である農地を保全し活用することは、重要かつ基本的な事項である。

このため、地域の農地利用の現状や意向等を常に把握するとともに、計画的かつ効率的な利用が図れるよう組織をあげて取り組む必要がある。

特に、担い手不足によって遊休農地や耕作放棄地が発生することが予想されることから、その発生防止や解消等について関係機関と十分協議してその対策を進めるものとする。

### (2) 体質の強い経営づくり

農業の生産性を高め、競争力を強化していくためには、担い手への農地集積・集約化を加速し、生産コストを削減していく必要がある。そのために本委員会としても地域及び個人を支援することにより、担い手への農地集積・集約化を促進し、効率的かつ安定的な農業経営に寄与するために、新規就農者の促進や経営感覚にすぐれた担い手を育成することが肝要である。このため、村や農協等関係農業団体と連携して取り組むものとする。

### (3) 地域に根ざした農政活動の展開

農業者の代表として、農業委員会に期待される活動は、農地法をはじめとする「農地の番人」としての法令業務のみならず、農業・農村の振興の

ための意見の公表、農業及び農業者に対する宣伝などきめ細かな農政活動が重要である。

また、農業者をはじめ非農業者も含めた地域農業振興に関する幅広い意見の積み上げ活動を着実にを行うとともに、全国農業新聞等の資料を活用して農業者に対する情報提供と収集活動を展開し、農業資質の向上に努めるものとする。

#### (4) 農福連携活動の実施

農地の巡回時に、各農業委員がその地域に居住する高齢者宅への訪問活動を実施する。

#### (5) 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

昨年春に誓い合った「支えあおう・鶴居びと」宣言の理念のもとで、村民や地域が互いに支えあいながらこの困難を克服し、未来を担う子供たちや次世代の皆さんに、地域の豊かな大地や尊い歴史の歩みを引き継いでいくために、本年度も村と一体となり昨年に引き続き鶴居村農業委員会もその一端を担うための取り組みを行うものとする。

### 3.活動期間

活動の期間は令和3年4月から令和4年3月末までの1ヵ年とする。